

すかがわ架け橋プログラム（須賀川市幼保小の架け橋プログラム）

○義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期で、この時期を「架け橋期」と呼びます。

○架け橋プログラムは、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図ることを目的とし、こどもたちが生涯にわたる学びや生活の基盤を築くための教育環境を整備することを目指します。このプログラムは、幼保小の連携・接続を強化し、架け橋期の教育の質を向上させることに寄与します。

《目的》

○幼児教育から小学校教育へのスムーズな移行を実現し、こどもたちが安心して学び続けられる環境を提供します。

○幼児教育と小学校教育の接続において、教育内容や方法の一貫性を持たせ、こどもたちの学びや生活の質を高めます。

○地域社会や保護者との協力を促進し、こどもたちの成長を支える環境を整えます。



プログラム内容

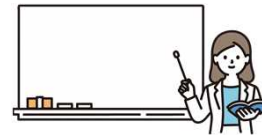
○幼児期及び幼保小接続期の教育の質的向上を図るため、教育委員会の架け橋期のコーディネーター等の派遣や保育教諭等の人材育成などを行うとともに、架け橋期のカリキュラムの開発・実施・改善を行うための体制を構築し、架け橋プログラムの更なる推進を図る。

架け橋期のカリキュラムの開発

- 架け橋期のカリキュラム開発会議による「モデルカリキュラム」の策定
- カリキュラムの実施・改善
- 架け橋期のコーディネーターの派遣
- カリキュラムの普及・啓発活動
- 各小学校区カリキュラムの作成支援

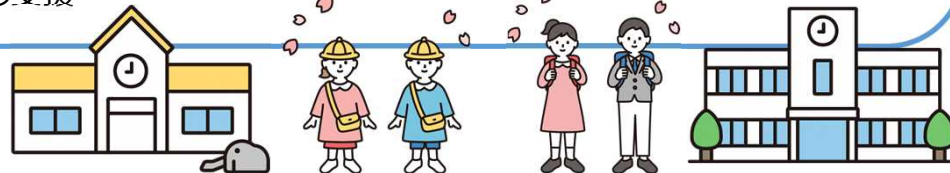
人材育成

- 各種研修の実施
- 研修教材の作成
- 指導主事、幼児教育アドバイザー等の幼児教育に関する指導助言



その他

- 文部科学省「幼児教育推進体制事業を活用した幼保小の架け橋プログラム促進事業（新規）」の活用
- 架け橋期のコーディネーター、幼児教育アドバイザーの委嘱
- 幼保小連携接続・架け橋期の教育の充実に対する継続的支援
- 幼保小連携接続に関する情報収集・発信
- 障がいのある幼児・支援を要する幼児受け入れ等に課題をもつ施設への支援



《目指す方向性》

○幼保小の協働

幼稚園、保育所、小学校が連携し、共通の教育目標に向かって協力する体制を構築します。

○人材育成

幼保小の円滑な連携接続のため、各種研修や施設訪問を行います。

○カリキュラムの開発

幼保小の接続期に特化したカリキュラムを開発し、実践することで、こどもたちの学びを支援します。

○評価と改善

プログラムの実施状況を定期的に評価し、必要に応じて改善策を講じることで、持続的な発展を図ります。